

できる・できる・できる

校訓:「自主・友愛・飛躍」

令和3年 4月 8日

No.1

長崎市立戸町中学校

文責 校長 大橋 功

<http://www.nagasaki-city.ed.jp/tomachi-j/>

新しい風を感じて!



正門に咲く桜の花びらが舞う中、戸町中学校の令和3年度がスタートしました。登校する生徒たちの表情は和やかで、生徒玄関に張り出された新しい学年・学級の名表で自分の名前を確認すると、様々な歓声が聞こえていました。

その後、新しい教室や廊下から生徒たちの元気の良い話し声が聞こえてくるとともに、ようやく戸町中学校に魂が宿り、活気のある学校に戻りました。

新たな仲間の紹介 ~着任式より~

この度の人事異動で、7名の先生方が着任しましたのでご紹介します。よろしくお願いします。

校長 大橋 功 (長崎県教育庁義務教育課より)
教諭 木下 孝子 (時津町立時津中学校より)
教諭 宇佐美 円 (長崎市立片淵中学校より)
教諭 島 瑞江 (大村市立大村中学校より)
教諭 友貞 桂 (長崎市立伊王島中学校より)
教諭 本多 淑恵 (松浦市立福島中学校より)
養護助教諭 大森 優里恵 (高山先生の育休代替)

生徒代表の3年 今村 美緒さんから、心温まる歓迎のメッセージを頂きました。 ※一部省略

こんにちは。戸町中学校へようこそいらっしゃいました。昨年度からおられる先生方、そして、新しく着任された先生方と共に、また、新しく始まる学校生活を送れることをとても嬉しく思います。

戸町中は、とても明るく、元気な生徒がたくさんいます。ですが、時間を守ることだったり、自分で考えて行動するというような課題も多く残っています。この課題を解決すべく、生徒会を中心に毎月の専門委員会で話し合っています。

さて、生徒会のスローガンは、「Be Original 一人一人の色を出し合い、戸町中だけの絵を描こう」です。これから、たくさんの事を学んだり、話をしたりして区中で、これまでにない新しい色を加えてくださることを楽しみにしています。

第1学期始業式 ~夢の実現に向けて~

新年度のスタートにあたり、生徒たちに次のような話をしました。(以下、校長の話①) ※一部省略



新年度にあたり、みなさんにお願ひがあります。戸町中学校の「校訓」である「自主・友愛・飛躍」の三つの言葉についてです。「校訓」とは飾りではなく、いつも胸に抱き、大切にしたい「目標」ということです。すでに、みなさんは、日頃から「校訓」の意味を理解し、意識しながら、自分のあるべき姿を見つめ、勉強、学校行事、部活動など、様々な学校生活の場面で、地道に努力しています。

今年度も、自ら考え判断し、友と協力しながら、夢の実現に向けて、粘り強く取り組んでください。

できる・できる・できる ~強い意志~



さらに、本校の実践の一つ、戸町中プライドについて、次のようなお願いをしました。(以下、校長の話②) ※一部省略

人とは不思議なもので、決意したことを、自分の心の中に抱き、「そうでありたい」「達成したい」と思い続けると、思わぬ力を発揮する時があります。それは「まぐれ」とか「偶然」とかではなく、その人の強い意志が、自らを努力しようとする言動へと導き、奮い立たせるのだと思います。強い意志が地道な努力へと繋がり、結果、「努力の成果」となるのではないのでしょうか。

全てが、理想とすべき成果に繋がるとは限りませんが、努力することによって、人としての内面的な成長は大いに期待できます。

戸町中プライド「できる・できる・できる」を、ぜひ、強い意志で、自分の心の中に抱き続けてください。

3年生になるにあたって～決意～

生徒代表の3年 松尾 羽菜さんが、進級した喜びや決意を発表しました。 ※一部省略

私たちは、いよいよ戸町中学校の最高学年となります。あこがれられる先輩となるよう、校訓「自主・友愛・飛躍」に沿って、決意を述べます。

「自主」について、自分たちで時計を見て動くことなど、自分たちで動くことができなかつたと思います。自分がすべきこと、したら相手のためになる行動ができていないので頑張ります。

「友愛」については、体育大会、合唱コンクールなど、クラスや学年で教職しながら成功させてきました。一つ一つの行事が最後なので、誰もが最善を尽くして、仲間との絆を強めていきたいです。

「飛躍」について、修学旅行では、限られたことがある中で、時間を守り、学年全体で協力することができました。今年は、自分たちのこれからを決める受験生です。「受験は団体戦」と言われるように、一人一人の自覚が大切です。日々の自主学習を心がけ意識を高めていきましょう。

入学式 ～ 中学校生活への第一歩 ～

穏やかな 頼伝いし 春風に 夢踊らす 子らの笑み

92名の新入生を迎えた入学式を、7日(水)に挙行しました。新型コロナウイルス感染防止対策のため、代表以外の2・3年生は、各教室で、入学を祝うリモート形式で行いました。

新入生誓いの言葉

新入生を代表して、中里 陽空くんが誓いの言葉を発表しました。 ※一部省略

私たち新入生は、小学校では、三つのことを頑張りました。「あいさつ」「無言そうじ」「家庭学習」です。これらを土台にして、さらに、成長したいです。中学校生活では、部活動ができることを楽しんでいます。先輩方とたくさん活動して、早く仲良くなりたいと思います。その反面、教科ごとに先生がかわることは、少し不安に感じています。早く先生に顔と名前を覚えていただき、意見や質問が積極的にできるようになります。戸町中学校の一員となったので、校訓「自主・友愛・飛躍」を卒業までに達成できるよう努力することを誓います。

在校生歓迎の言葉

在校生を代表して、生徒会長の山口 風雅くんが、歓迎の言葉を述べました。 ※一部省略

ご入学おめでとうございます。今日から始まる中学校生活を、どのように考えていますか？楽しみだと思っている人、不安だと思っている人など、みなさんの心には、いろんな思いがあると思います。学校の決まりである「校則」や教科ごとに先生が変わって授業を行います。部活動は、体力面・精神面ともに鍛えられます。行事は、クラスの団結力を試すことができます。修学旅行や職場体験などたくさんのことを学ぶことができます。生徒会活動では、他の学校にない、戸町中だけの良いところを増やし、より良い学校生活にしようと思います。我が戸町中学校の校訓「自主」自分で考え判断できる人になる。「友愛」友達と協力できる、大切にできるひとになる。「飛躍」自分の夢の実現に向かうことができる人になる。を、3年間で達成できるように頑張らしましょう。

心の種

今回のテーマは「出会いと心地好いあいさつ」です。

私は、始業式の冒頭で、生徒たちに、感謝の気持ちを述べました。それは、職員玄関や廊下等ですれ違う際に、



「こんにちは」、「おはようございます」と、「立ち止まりあいさつ」を行ってくれるからです。わずか一秒のあいさつですが、私の心の中は、いつまでもホカホカと余韻の残る心地好い気持ちでいっぱいでした。この生徒たちの素晴らしいあいさつが、戸町中学校の自慢の一つとなるように頑張ります。やっぱり、戸町中学校の生徒は凄い！（毎号、学校生活の中で発見した、生徒たちの成長を“心の種”と題してお届けします。）

保護者の皆様へ

戸町中学校全職員が一丸となり、“チーム戸町”で取り組んで参ります。お子様のことで悩みがあれば、ぜひ、学校(学年・学級担当や管理職含む)にご相談ください。解決するか否かは別として、些細なことでも相談することで、気持ちが楽になります。お子様の健全育成のためにも、共に力を合わせましょう。